

第92回理事会議事録

1. 開催日 平成24年10月26日（金）12：00
2. 場 所 大阪鉄鋼会館 11F
3. 出席者 高木理事長
酒匂副理事長（東京支部長）、高木副理事長（東海支部長）、
浅野副理事長（大阪支部長）、木村副理事長（九州支部長）、
岩谷理事（東北支部長）、大川理事、東理事、笹田理事、池田理事、
岡理事、永吉理事、越智理事、浅利理事（中国支部長）、自見理事、
臼井東京支部技術委員長
事務局（柘野）
4. 議 題 ①理事長挨拶
②24年度事業の上期実施報告
③組合員・賛助会員の入脱会状況報告
④24年度予算の執行状況報告
⑤「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の普及に向けた組合活動について
⑥次期（第38期）通常総会の日程・開催場所について
⑦今後の会合予定について
⑧懇談

5. 経 過

議事に先立ち、本会に初出席の高木副理事長、浅野副理事長、池田理事、越智理事よりそれぞれ挨拶が行われた。

(1) 理事長挨拶

高木理事長より大要以下の挨拶が行われた。

「本日は、新理事4名の方に初出席いただいている。今後とも当組合に対するご理解と建設のご意見をよろしくお願ひしたい。私からは組合事業活動の中から2点取り上げて申し上げたい。①去る10月19日(金)に、総勢約50名が参集して、「第3回全国青年交流会」を大阪で開催した。大阪支部長会社をはじめ多くの方々のご尽力により、熱心な討議や工場見学を通じて今回も大変有意義な交流会となった。当日は自社工場見学のご手配をいただいた浅野支部長にはここに改めて厚く御礼を申し上げたい。本交流会は次世代を担う若い人達が参加し交流を深めることができる唯一の場である。これからも熱気ある交流会として育てていってほしい。②建築用鋼材の品質証明ガイドラインが設定されてから3年が経過したが、この間東日本大震災などもあって、その実行推進は捗々しいものではなかった。ガイドラインの思想は、仕事を効率化し、品質向上に繋げることを眼目としてい

る。先日鉄建協の田中運営委員長とも懇談し、この問題を両業界の共通課題としてとらえ、連携して進めていこうとの合意を得た。今後他業界(不動産、運輸等)の事例も参考にしながら、「品質証明に係るコストは有償」であることを当然の権利として関係先に主張してまいりたい。組合員各位の倍旧のご協力をお願いしたい。」

(2) 24年度事業の活動経過報告

事務局より、本年度上半期に実施された事業内容に関し以下の通り説明、了承された。

➤ 通常総会の開催

- ・平成24年5月18日(金) ホテル日航高知旭ロイヤル
第37期通常総会 16時30分
懇親パーティ 18時
- ・平成24年5月19日(土)
懇親ゴルフ会 7時 黒潮カントリークラブ

➤ 総務委員会の開催

- ・第108回：6月20日(水)、第109回：9月11日(火)

➤ 臨時総会(書面)を開催

- ・平成24年7月20日(金) 14時 鉄鋼会館6F・事務局会議室
理事の補欠選任の件(三和鐵鋼(株)林前社長から、高木唯夫社長に交代)

➤ 本支部間の交流と教育研修事業

1) 本支部交流

①各支部総会に理事長が出席

- ・九州支部(4/6)、東海(4/13)、大阪(4/20)、東京(4/24)

②本支部懇話会

- ・平成24年 8月28日(火) 北海道支部との懇話会 札幌市
①本支部情勢懇談、②品質証明ガイドラインの普及活動(臼井委員長)、
③ファブ工場見学(竹原鉄工所、北川組鉄工所)

2) 教育研修事業

- ・(社)日本溶接協会と共催で「熱切断作業の品質と安全講習会」を開催
平成24年8月24日(金) 10:30 秋葉原・溶接会館
参加者：83名 うちシャー工組は40名。

3) 新年賀詞交歓会の開催(予定)

- ・平成25年1月15日(火) 17時 ロイヤルパークホテル3F
幹事団体はコイルセンター工組。参加者数は約600名を予定。

4) 第 3 回全国青年交流会を大阪で開催

第 1 回（東京）、第 2 回（名古屋）に引き続き、今年は大阪で開催。

・平成 24 年 10 月 19 日（金）

13:00 見学会（新梅田シティ、大阪市環境局・舞洲ゴミ処理工場、
日鐵神鋼シャーリングの工場見学）

17:30 地区情勢懇談会 大阪鉄鋼会館

18:30 交流パーティ //

・参加者数

【内訳】

①青年会メンバー：37名（北海道3、東京16、東海10、大阪6、神姫2）

②来賓（高木理事長、浅野・高木各副理事長）ほか11名、

総勢48名。（昨年は48名）

➤ 調査研究事業

1) 技術等に関する調査研究

①『建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン』（H21年12月、日本鋼構造協会発行）の普及促進活動

a) 同ガイドラインに関するアンケート調査の実施

・8月7日から17日にかけて、全組合員を対象に、ガイドライン設定後の普及状況や課題についてアンケート調査を実施した。この結果、「個社での対応には限界があり、工業組合として、関係業界(ファブ・ゼネコン・設計会社)へのアピール・働きかけをしてほしい」との多くの意見を得た。

b) 鉄骨建設業協会・田中運営委員長との懇談（24年10月24日）

・去る24日(水)、高木理事長と鉄骨建設業協会・田中進運営委員長(株駒井ハルテック社長)が懇談。理事長より「ガイドラインが出来てから3年が経過し、いよいよ実行の段階にきた。アンケート結果を見ても普及浸透はなかなか進んでいないのが実状で、逆にシャーのサービス負荷が増大している傾向にある。いち早く鉄建協・全構協・シャー工組の3者が共同で設計会社やゼネコンに働きかけを行う必要がある。是非お力添えをお願いしたい。」との要望を行った。

・これに対し、田中運営委員長より、「いつまでもこの問題を当業界としても放置しておくのは良くない。今回のシャー工組からの申し入れが現状を見直し改善する絶好のチャンスと考える。早急に3者でワークショップを作り、まず実情調査から開始し、そのうえで問題点抽出や解決方策の検討を進めてまいりたい。ご協力をお願いしたい」との回答があった。

c) 全構協(9/21)・鉄建協(9/26)・鉄鋼連盟(10/2)との事務レベル打合せ

- ・三団体事務局関係者と事務レベルで打合せを行い、現状に関する情報交換と、今後の普及活動に対する協力を依頼した。

d) 北海道支部との情報及び意見交換会（24年8月28日）

- ・本支部懇話会に合わせ、臼井委員長より同ガイドラインの概要、普及状況等について報告し、意見交換を行った。

② (社) 日本溶接協会・溶断小委員会に参加(24年7月18日)

- 当組合を代表して、東京支部技術委員会の3委員（臼井委員長、小日向委員／JFE鋼材(株)取締役、中山委員／神鋼鋼板加工(株)取締役）が参加し、溶断関連の研究情報交換を行った。

2) 「鋼板流通調査」の集計・公表

- ・月次統計「鋼板流通調査」を毎月25日にとりまとめ、集計結果を機関誌『情報』及びホームページ上で公表している。

➤ **情報・資料の収集、提供事業**

1) 市場委員会の開催

- ・平成24年6月15日（金）東京、9月14日（金）大阪、12月7日（金）（名古屋予定）、平成25年3月上旬（東京予定）

2) 組合機関誌「情報」の発行

- ・24年4月号～9月号発行、組合員および賛助会員に配布。

3) 24年版「組合員名簿」の作成

- ・隔年実施。24年9月に発刊し、組合員・賛助会員に配付。

➤ **経済産業省鉄鋼課ヒアリングへの対応**

- ・24年6月20日（水）、9月11日（火）、12月12日（火） 経産省会議室

➤ **鉄鋼産業懇談会厚板部会長との懇談**

- ・24年6月14日（木）、9月12日（水）、12月11日（火） JFES会議室

➤ **官公庁関連情報の連絡・提供**

- ・経済産業省、鉄連等から発信された、電力需給・節電対策問題、中国の反日デモによる被害状況等に関する情報を、適宜組合員へ連絡、周知した。

➤ **「セーフティネット保証」活用制度の延長申請**

- ・鉄鋼シェアリング業は、中小企業庁が実施している同制度の対象業種に20年2月に指定された。
- ・今年も10月末をもって期限切れとなることから、鉄鋼課を通じ延長申請を行い、

認可された。運用期間は 25 年 3 月 31 日まで。

(3) 組合員・賛助会員の入脱会報告

事務局より、本年度の組合員入脱会状況について報告。組合員は入会 3 社、脱会 2 社、10 月現在の組合員数は 161 社・6 事業所となっている。また、賛助会員は 1 社入会、2 社脱会、計 21 社・1 団体である。

(4) 24 年度予算の執行状況報告

事務局より、本年度上期支出実績及び年度見込みについて報告、了承された。

(5) 「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の普及に向けた組合活動について

白井品質保証分科会主査（㈱富士鉄鋼センター常務取締役）より、配付資料に基づき、今後の普及活動方針について、大要以下の通り報告が行われ、了承された。

本ガイドラインの普及状況と課題を把握するために先般、組合各社にアンケート調査を実施した結果、ガイドラインの基本思想^(※1)に則った普及運用を図りたいが、個社での対応には限界があり、組合として業界（ファブ・ゼネコン・設計会社）へのアピール・働きかけをして欲しいという多くの意見を得た。このようなご意見も参考に、また下記の観点より、組合として本ガイドラインの正しい運用普及を推進するための活動を開始することとしたい。

- ① 本ガイドラインは、シャア会社の意見・要望の反映結果であり、普及は組合にとって意味がある。
- ② ガイドラインの基本的考え方に反する普及の動きがあり、まだ普及が進んでいない現段階においてその流れを正す必要がある。
- ③ 実際の普及運用のためには検討課題も多く、組合として検討体制を作り推進する必要がある。
- ④ ガイドラインの実際の運用指示は、シャア会社の直接取引先でない設計会社・ゼネコンが行っており、ガイドラインの正しい運用を推進させるためには、設計会社・ゼネコンと直接対応するファブと共同した検討・連携が必要である。

(※1) “仕様含め取引内容を事前に契約書に明記し遵守・履行する”
“品質保証に関わる付加コストについては有償とする”

活動内容

- ① ガイドライン運用のための組合対応方針の作成、普及のための課題検討及び説明会等の資料検討
- ② ガイドラインの組合員説明会の開催（ガイドラインの基本思想・考え方、組合対応方

- 針を主とする説明会の各支部開催)
- ③ ファブ（鉄建協、全構協）との運用普及に向けた共同検討（統一運用化のための課題・問題検討とゼネコン・設計会社へのアピール方法検討）
- ④ シャー・ファブ共同によるゼネコン・設計会社等への申し入れ・アピール

活動スケジュール

	H24			H25		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○ 組合内体制整備	▼理事会承認					
① 対応方針・課題検討		▼分科会キックオフ				
② 全国説明会開催				—————		
③ ファブとの協同検討		—————				-----
④ 業界へのアピール						—————

組合内活動体制

建築鋼材を取り扱う組合員の中から検討メンバーを選定し、従来の品質保証タスクフォース（分科会）を再編し、種々検討及び活動を品質保証分科会中心に推進する。

「品質保証分科会」 委員構成

主 査	【東京支部】	臼井 美文	(株)富士鉄鋼センター	常務取締役
委 員	【北海道支部】	上遠野久夫	(株)産鋼スチール	代表取締役社長
〃	【東京支部】	小日向 忠	J F E 鋼材(株)	技術部長
〃	【東京支部】	中山 和彦	神鋼鋼板加工(株)	取締役
〃	【東京支部】	渡辺 忠英	日新シャーリング(株)	工場長
〃	【東海支部】	村山 敬司	中部鋼板(株)	営業部担当部長
〃	【大阪支部】	大番屋嘉一	(株)日鐵神鋼シャーリング	専務取締役
〃	【九州支部】	自見 修真	自見産業(株)	代表取締役社長

(6) 次期（第38期）通常総会の日程・開催場所について

- ・次期（38期）通常総会の開催日程は、「25年5月17日（金）～18日（土）」開催で了承された。
- ・開催場所については、数カ所提案されたものの結論に至らず、本件は総務委員会に一任された。事前調査を行ったうえで、関係支部長と相談しながら、今年中に最終決定することとなった。

(7) 今後の会合予定

- ・第 155 回市場委員会：平成 24 年 12 月 7 日（金） 11：30 名古屋
- ・第 110 回総務委員会：平成 24 年 12 月 12 日（水） 12：00 東京
- ・新年賀詞交歓会：平成 25 年 1 月 15 日（火） 17：00 ロイヤルパークホテル
- ・第 38 期通常総会：平成 25 年 5 月 17 日（金）～18 日（土） 16：30 未定

(8) 懇談

出席の各理事より、各地区の需要動向や問題点を中心に報告があり、種々意見交換が行われた。

以上